



通算第45号

1964~65-3-24

函館北ロータリークラブ

第40回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム 映画

司会 新会長 斉唱 『手に手つないで』

ビジター 住田清一君(酒類飲料小売 森R.C.)

村上正夫君他15名(函館R.C.)

山本他喜男君他9名(函館東R.C.)

会長挨拶

1. ガバナーズ・レター中より主要事項のみ申し上げます。45年前の4月1日は、米山梅吉氏によつて日本のR.C.がR.I.に加盟を認められた日であり、4月1~7日を日本のロータリー創立記念週間としております。従つて当クラブでは来る4月7日の例会日を創立45周年記念デーとして、それにふさわしいプログラムを予定します。

R.I.東日本連合地区大会委員が決定しましたが、350地区からは函館東クラブの外崎泰吾君が、北海道代表幹事として選出されました。なお、この大会には多数の出席が希望されています。

2. 船失会員のお誕生日をお祝い申し上げます。(前回の追加)

幹事報告

1. チャーターの案内が多数来ております。

上士幌R.C. 6月20日 13~14時登録 於上士幌高校講堂

被露は糠平温泉 申込4月10日迄

山中R.C.(石川県) 6月13日

軽井沢R.C. 5月25日

2. 札幌幌南R.C. 40年1月20日付にてR.I.正式加盟

3. 例会終了後理事会を行います。

4. ビジターの方々に、当クラブのチャーター・ナイト(5月9日)の節は、

2. 新年度のアツセンブリーを開く前に、新旧の委員会で協議するように。
3. 方法は色々あります。例会でとりあげるとか、討論会とか、炉辺談話を利用するとか。クイズ形式も面白い。新入会員の教育を主眼とする時は、非公式に少グループで行なうとよく、その場合古い方に出席してもらつてリーダーをお願いすると効果があがる。
4. クラブ創立記念日とか、R.I.創立記念日を忘れず、有意義な会とすべきで、これらはプログラム委員との連携が大切である。
5. 会員選考の14の段階についての質問があり、詳細な教えを受けました。

※ Ⅷ班(クラブ会報委員長)の報告

阿部バストガバナーを司会に、目的、特別記事、ニュース源等を主題にディスカッションに入りましたが、内容は会報委員の苦勞話が多い会となりました。昨年にひきつづき水上が出席。

1. 会報委員会の存在が曖昧ではないか、細則にクラブ会報委員会の名称がのつていないのは軽視されているのか、との質問があり、細則には編集者の名で出ている。R.I.では重視しているからこそ今日こうしてお集まり願つているのだ、との説明がありました。
2. 会報はクラブ内の意志の疏通をはかり、クラブの歴史を残し、外への顔となる大切なものであるから一生懸命にやつてほしい。
3. 会報、編集のうちで卓話をまとめるのに苦勞する。殊に専門が違つると困るプログラム委員が卓話をお願いする時に、「会報にのせるので失礼があつては困るから、是非当日抄録をお願いしたい」と持つてゆくのが最良のようです。
4. 広告料をとつているクラブが二、三ありました。
5. 会報を読んでいただく為には、ロータリーの尊厳をきずつけぬ程度の軟かい表現法を工夫しなければならない。
6. 会報の最終責任者は誰か。(例えば幹事?)やはり会報委員長でした。

※ その他

事務連絡、地区資金委員の報告等があり、嵯峨ガバナーエレクトの終了の挨拶、次期地区協議会のホストクラブとして選出された北見R.C.、中村会長の挨拶があつて予定のプログラムを終了しました。

17時30分より盛大な晩さん会が行なわれ、開会劈頭寿原ガバナーに感謝の言葉と、それに対する謝辞がありました。ローヤルホテルも良かつたし、ホストクラブである札幌東R.C.の方々の御努力も甚大であつたと思われまふ。ロータリアンらしい素晴らしいムードを味わつた一日でした。

(文責 水上)

多数御出席下さるようお願い申し上げます。

※ 出席報告

会員数30名 当日出席21名 他ク出席3名 計24名(80%)

参考: 函館91.51% 函館東89.71%

※ スピーチ 『俳句について』 俣野純夫君

俳句の起源は遠く天和の時代と言われますが、俳句の内容の整つたのは有名な蕉からで、その後蕪村、子規などによつて5.7.5の短い自然詩となりました。いま芭蕉の句を大別してみると次の三つになります。

1. 自然をあるがままに表現したもの
2. 感情を自然によそえて表現したもの
3. 理智を通して自然を表現したもの 例へば

- 1は 古池や蛙飛び込む水の音
- 2は 初しぐれ猿も小蓑を慾しげなり
- 3は 我が物と思えば軽し傘の雪 である。俳句は四季の変わり即ち寒さ暑さ等の感動又は衝動が胸中にあるものを吐出したものと見るべきで、芭蕉はよく旅行して見聞をひろめたものと思います。この季語(季題)は叙情的叙景詩であるから、季節感を生命としています。文化の発達に伴つて例へばロケット、人工衛星、月旅行などを考えますと、昔とは大変違つて来るわけです。

今フランスあたりでも俳句が盛んになつていようですが、柔道でヘーシングが優勝して、日本の柔道の覇権が持ち去られたように、俳句も自然風物等の美しい外国に株を奪われる時代が来るかも知れません。5.7.5の自然詩は生活と密接した記録で、自分の慰安と活力にすることが俳句の特点だと思います。そして文章、詩歌に「三多」と言う言葉がありますが、俳句も1多く見て 2多く作る 3多く工夫する これが俳句の上達のひとつと思います。

○ 『ロータリーの友』に俣野会員の俳句がのつています。(会報係)

雪解水煤をまじえて流れけり(2月号)

浜人の声かん高にいわし雲(3月号)

※ 感想(スピーチ後の)

(新会長)私も俳句の鑑賞が好きで、虚子の『ホトトギス』を長い間購読してました。何度も投稿しましたが遂に一句も掲載されませんでした。只今の俣野会員のスピーチ、大変面白く聞きました。殊に俳句が、柔道や碁の様に外国に入つてゆくことは興味深い。(遠藤副会長)私も俳句を鑑賞しますが、特に私の所に入院していた下半身麻痺の鉄道員が読んだ句『芭蕉をぬぐ木の芽の声を聴かんとす』はいたく感銘を受けました。病人であつたからこそこの様な感覚の鋭い句が出来たと思います。



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

通算才46号

1964~65-3-31

函館北ロータリークラブ

第41回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

本日のプログラム 『日本のロータリー物語』 太秦康光氏

- 司会 新会長
- 斉唱 『奉仕の理想』
- ゲスト 佐藤昌蔵君(尻内温泉旅館主)
- ビジター 浜辺利蔵君(紋別R.C.漁業)
竹内新三郎君他8名(函館R.C.)
倉田厚君他5名(函館東R.C.)

※ 会長報告

1. 次の例会(4月7日)は日本のロータリークラブ創立45周年にあたるので、祝杯をあげ、東クラブ会長太秦先生より記念講演をお願いします。
2. 深川R.C.からバナー交換の申し入れがありました。
3. 森R.C.から、4月6日P.M.5,00より加盟承認一周年記念会を行う旨の案内状が参つております。
4. フロリダ州のフォーラルケーブルズR.C.より、当クラブ創立に対するお祝状が来ました。

※ お知らせ

1. 仮クラブ設立 枚岡仮R.C.(大阪府)3月4日
2. チャーター・ナイト案内
倶知安R.C.6月18日(申込4月20日迄)
下川R.C.6月13日 雄武R.C.6月6日
名古屋守山R.C.5月9日

※ ニコニコ箱

1. 杉本会員の御息が同志社大学に合格されました。(金賞)
2. 北村会員の御息(次男)が慶応大学を御卒業され、又一人娘の千恵子さんが東高校に合格されました。(金賞)
3. 船矢会員の長男紳一君が東高校に、水上会員の長女裕美子さんが中部高校にそれぞれ合格されました。(銅賞)
いずれもおめでとございます。